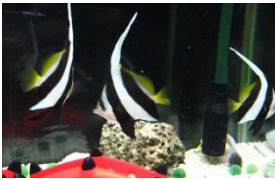


～ 「水の中の八戸三社大祭」 魚たちのお通り行列展 ～ 展示予定魚種

	魚種	特徴	展示個体数
旗行列	ハタタテダイ 	・学名: <i>Heniochus acuminatus</i> スズキ目チョウチョウウオ科 体長6～8cm ・大きく伸びた背びれが特徴的。インド洋から太平洋のサンゴ礁など暖かい海に生息しており、日本でも見ることができます。低めの水温にも強いようで、東北の海での目撃例もあるそうです。	5
花屋台	コメット 	コイ目コイ科フナ属 体長約10cm ・アメリカで、日本から輸入されたフナやリュウキンなどが自然交配を重ねた結果生まれ、逆輸入という形で日本に入ってきたキンギョです。コメットとは「彗星」の意味で、鰭が長く、細身の体型であり白く長い尾(吹き流し尾)で素早く泳ぐ姿が、まるで水の中の彗星のようであるためにその名がつけました。	20
寅舞	トラザメ 	・学名: <i>Scyliorhinus torazame</i> メジロザメ目トラザメ科 体長約30cm ・最大でも 50cm ほどの小型のサメです。卵生で、卵には巻きひげがあり、これで海藻などに絡みついて固定されます。トラザメ類は英語で Catshark (キャットシャーク) であり、Tigershark (タイガーシャーク) ではありません。	1
笹の葉踊り	カザリキュウセン 	・学名: <i>Halichoeres melanurus</i> スズキ目ベラ科 体長約10cm ・和歌山県や小笠原諸島、沖縄県で見られるベラの仲間。浅いサンゴ礁に暮らしています。オスは緑色で、メスは黄色っぽい体色をしています。	5

裏面へ続く→

演目	魚種	特徴	展示個体数
駒踊	ウマヅラハギ 	・学名: <i>Thamnaconus modestus</i> フグ目カワハギ科 約20cm ・体型はカワハギに比べるとやや細長くなり、また後頭部に一本の大きなトゲがあります。顔が長く、馬の顔を連想させることから馬面のカワハギ、略してウマヅラハギという名前になりました。	5
武者	コンゴウフグ 	・学名: <i>Lactoria cornuta</i> フグ目ハコフグ科 大きさ8cm ・幼魚期はサイコロのような形で愛らしい姿をしていますが、成長すると眼の上や尾ひれに長い棘をもつ特的な姿となります。	1
山車	スターポリプ 	・学名: <i>Pachyclavularia sp.</i> ・美しい草原のようにライブロックや底砂を覆っていくサンゴです。サンゴに分類されますが、ソフトコーラルという仲間に属しており、固い骨格がありません。蛍光色の緑色や紫色など、カラーバリエーションがあります。	2
山車	シライトイソギンチャク 	・学名: <i>Radianthus crispus</i> 刺胞動物門 花虫綱 イソギンチャク目 ハタゴイソギンチャク科 ・ハタゴイソギンチャクに近い仲間、海底に大きなマットが敷かれたような形態をしています。触手は白色から赤紫色まで色があります。クマノミ類の中でも主にハナビラクマノミが棲むことで知られています。	2

約 8 種 約 5 0 匹

※展示魚種および個体数は変更となる場合がございますが、予めご了承ください。